



oneness

主催：大阪府立弥生文化博物館・近畿弥生の会

2020 年度 弥生時代講座

聞いてなっとく 弥生の世界

遺跡・遺物からみた弥生時代研究

10月17日(土) 「ヤジリの変容・高地性集落の出現と 弥生時代の『争い』」

園原 悠斗〔(公財)兵庫県まちづくり技術センター 埋蔵文化財調査部 技術職員〕

弥生時代といえば、多くの人が連想する言葉の中に「争い」が入っているのではないのでしょうか。

では、弥生時代とは本当に争いが絶えない時代であったのか、ヤジリの変容と集落の移動から見つめ直したいと思います。

応募締切：10月8日(木) 必着

12月19日(土) 「弥生の木材ネットワーク」

鶴来 航介(京都大学大学院 文学研究科 非常勤講師)

農耕をはじめた弥生社会では、大量に消費する木材資源の確保が大きな課題となりました。偏在する資源を地域全体で利用するために弥生人が築き上げた、木材供給のネットワークについて語ります。

応募締切：12月3日(木) 必着

2021年

2月6日(土) 「弥生時代のはじまりと東北アジア」

三阪 一徳(岡山理科大学 学芸員教育センター 講師)

なぜ日本で稲作や雑穀栽培といった農耕がはじまり、そして縄文時代から弥生時代へ移り変わるようになったのかについて、同時代の朝鮮半島と中国東北部の文化や人の移動の動向を捉えながら考えてみます。

応募締切：2021年1月28日(木) 必着

場 所：弥生文化博物館1階ホール・サロン

時 間：いずれも14:00～16:00
(13:30から受付)

定 員：ホール70名、サロンでのモニター中継30名
(往復はがきによる完全事前応募制)

より多くの方にご参加いただけるよう、応募は各回ごと個
人で受け付けます。

応募多数の場合は抽選とします。

往復はがきの往信に氏名、住所、希望する講演会を明記の上、
返信にご自分の宛名をご記入ください。

混乱を避けるため、当日定員に余裕があった場合でも事前
申し込みのない方はご参加いただけません。

参加にあたってはマスクの持参・着用をお願いいたします。

対 象：大学学部生・一般市民向け

受講料：無料(ただし入館料は必要です)

卑弥呼と出会う博物館



大阪府立弥生文化博物館
Museum of Yayoi Culture

指定管理者：大阪府文化財センター・近鉄ビルサービスグループ
大阪府和泉市池上町4-8-27 TEL.0725-46-2162
<http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/>



※本年度も8月から講座を開始する予定でしたが、
新型コロナウイルス感染症対策のため、10月から
開始することとし、合計3回の開催といたしました。
何卒ご理解の程お願いいたします。

ACCESS



JR 阪和線「信太山」駅下車西へ約600m
南海本線「松ノ浜」駅下車東へ約1,500m

【大阪方面からお越しの場合】
JR天王寺駅から和歌山方面行(阪和線)快速電車
にご乗車になり、鳳(ぼとり)駅で普通電車にお乗換え
ください。一部には、鳳駅まで快速、その後各駅に
とまる「区間快速」もございます(くわしくは時刻
表をご確認ください)。
大阪駅からお越しの場合は、「関空・紀州路快速」
をご利用になると便利です。
鳳から3駅目が信太山(しのたやま)駅です。



国道26号「池上町」交差点南西角
P 普通車 72台(無料)

